

官報

號外

昭和五年五月三日

第五十八回 貴族院議事速記第五號

帝國議會

昭和五年五月二日(金曜日)午前十時六分開議

議事日程 第五號

昭和五年五月二日

午前十時開議

- 第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第四日)
- 第二 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

●議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

去月二十八日當任委員分科會ニ於テ當選シタル正副主査ノ氏名左ノ如シ

請願委員會

第一分科

主査 子爵保科 正昭君
副主査 森田 福市君

第三分科

主査 子爵土岐 章君
副主査 男爵肝付 兼英君

第四分科

主査 男爵上田 兵吉君
副主査 八田 嘉明君

決算委員會

第一分科

主査 男爵北河原公平君
副主査 木村清四郎君

第二分科

主査 公爵鷹司 信輔君
副主査 子爵三宅戶敬光君

第三分科

主査 子爵立花 種忠君
副主査 男爵千田 嘉平君

第四分科

主査 子爵片桐 貞央君
副主査 眞野 文二君

第五分科

主査 子爵吉田 清風君
副主査 男爵深尾隆太郎君

同日盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵二荒 芳德君
副委員長 花井 卓藏君

去月三十日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

内務省所管事務政府委員

内務省衛生局長 赤木 朝治君
逓信省所管事務政府委員

逓信省管船局長 宮崎 清則君
拓務省所管事務政府委員

拓務省拓務局長 郡山 智君

同日請願委員分科會ニ於テ當選シタル正副主査ノ氏名左ノ如シ

第二分科

主査 男爵關 義壽君
副主査 大谷 尊由君

昨一日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案可決報告書

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外務省所管事務政府委員

外務省歐米局長 堀田 正昭君
外務省條約局長 松永 直吉君

大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 飯田九州雄君
大藏技師 矢部規矩治君

●議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、去月二十八日、第五部選出豫算委員赤池君、病氣ニ依リ委員ノ辭任ノ申出デガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス、就テハ第五部ニ於テ補關選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

●議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諮リ致シマスガ、本日ノ日程第二ノ第一ト線替ヘテ議題ト致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

●議長(公爵德川家達君) 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和五年五月一日

委員長 伯爵二荒 芳德

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵二荒芳德君演壇ニ登ル〕

●伯爵二荒芳德君 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、本委員會ハ二日ニ亘リマシテ本法律案ノ審議ヲ致シマシタ、本法律案ノ提出ノ目的ハ從來刑法第三十六條第一項ノ防衛行為ニ關スル規定ノ申デ、特ニ自己又ハ他人ノ生命身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル爲ニ犯人ヲ殺傷シタル場合、及ビ此危險ニ對シマシテ行為者ガ恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ依リテ現狀ニ於テ犯人ヲ殺傷シタル場合、及ビ常習シテ刑法ニ規定イタシマス所ノ竊盜、強盜又ハ竊盜ニシテ罪跡ヲ隠滅シ又ハ逮捕ヲ免レ其他奪還ヲ防グ爲ニ暴行脅迫ヲシタヤウナ場合ノ強盜ノ罪ヲ、特ニ加重イタシマシテ罰スル規定、此三ツニ分レテ居ルノデアリマス、此法律案ハ從來ノ刑法三十六條ノ一項ノ防衛行為ノ範圍ヲ擴大スル意味デハナイノデアリマシテ、先般來頻頻ト起リマシタ所ノ諸種ノ強盜行為、即チ或ハ説教強盜デゴザイマストカ、或ハ講談強盜デアリマストカ、帝都ヲシテ非常ナ不安ニ一時陷レマシタヤウナ事實ヲ認メマシテ、ソレヲ防ガムトスル目的ニ出デマシタ所ノ法律案デアアルノデアリマス、此故ニ此法律案ハ暫定的ノモノデアリマシテ、總テ一ツノ刑法ノ改正ノ前提トモナルモノデアルト思ハレルノデアリマス、又第二條

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

官報號外

昭和五年五月三日

貴族院議事速記第五號 議長ノ報告 會議 議事日程變更 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案

第一讀會ノ續

三三

ノ常習犯ヲ加重シテ罰シマス規定ハ、是亦過去半年程前ニ於キマシテ、隨分暴力ヲ以テ人ノ住居ノ安寧若クハ個人ノ自由ヲ侵犯シタ犯罪ノ例ガ澤山アリマスノデ、此犯人ノ中ニハ極ク短期間ニ再ビ同ジ犯罪ヲ繰返ス者ガ多イト云フヤウナ統計ガ明カニ出デ居リマスノデアリマシテ、之ヲ重ク罰スルト云フコトガ非常ニ必要ニ認メラレルノデ規定サレテ居ルノデアリマス、此諸種ノ點ニ付キマシテ委員會ハ微ニ入リ細ヲ穿チマシテ、種々質問ヲ致シ又討議ヲ致シタノデアリマス、其結果此法律案ハ今日ニ於テ最モ適當デアルト認メラレルコトヲ、全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタノデアリマス、右御報告申上ゲマス

●議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

●議長(公爵德川家達君) 贊成

●議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

フ事柄デアリマスレバ、是ハ先例モアルコトデアリマスルカラ、他ノ國務大臣ヨリ答辯ヲ致スコトニ致シマス、又陸軍省ノ所管事項ニ付キマシテハ政府委員ヨリ答辯ヲ致シテ居ル先例モアリマス、併シ是非陸軍大臣ノ答辯ヲ望マルルト云フコトデアリマスレバ、先日モ此席ニ於テ申シマシタ通り書面ニ依ル答辯ヲ御認メ願ヒタイト思ヒマス、書面ニ依ル答辯デ御不滿ト云フコトデアリマスレバ、陸軍大臣ノ出席マデ御留保ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望イタシマス

●議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

務大臣ノ發言ニ付テハ政治上道德上内閣ノ總員其責任ニ任ズベキモノナリト信ズ、政府ノ所見如何ト、斯ウ云フ質問ヲ致シタノデアリマス、然ル所之ニ對シマシテハ政府ノ答辯ハ、第一ニ對シマシテハ、國務大臣ノ職務ハ國法上各省所管ノ事務ニ限局セザルモノト認ム、第二ニ付キマシテハ、國務大臣ノ發言ハ必シモ其所管事務ニ拘束セラレベキモノニ非ズト認ム、第三ニ對シマシテハ、國務大臣ノ發言ニ付テ其總員ガ政治上及道德上ノ言責ニ任ズベキヤ否ヤハ各事項ニ付テ決定スベキ問題ニシテ概括的ニ答辯スルコトヲ得ズト、斯ウ云フ答辯ヲ得タルガ、大體ニ於テ内閣ハ連帶責任制ヲ執ルト云フコトニ答ヘラレテ居ルノデアリマス、即チ國務ニ關スル甲國務大臣ノ發言ハ甲國務大臣以外ノ乙、丙其他ノ國務大臣ト雖モ連帶シテ責任ヲ執ルト云フコトニ歸著スルノデアリマス、例ハバ外務大臣ノ國務大臣トシテノ發言即チ演說、例ハバ當院ニ於テノ演說、此演說ハ陸軍大臣モ海軍大臣モ其主管事務デハナイノデアルケレドモ、相共ニ外務大臣ノ演說セラレタル點ニ於テ責任ヲ負フベキモノデアルト云フコトニ先ヅ歸著ヲ致ス筋デアリマス、限局セラレズ、拘束セラレズ、陸軍大臣モ海軍大臣モ相共ニ外務大臣ノ發言ニ責任ヲ負フト云フコトニ歸著スルノデアリマス、是ハ譬ヘデアリマス、政府デ宣傳セラレタノデアリマスヤ否ヤハ私之ヲ存ジマセヌノデアリマスガ、新聞紙上ニ書イテアリマスガ如ク、甲國務大臣ヲ指名シテ質問ヲ致ス場合ニ於キマシテ甲國務大臣以外ノ國務大臣、即チ乙國務大臣若クハ内閣總理大臣答辯ヲ爲シ得ルコトヲ認

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

●議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

メタルモノデハナイノデアリマス、私ハ言
責ニ付テノ質問ヲシテ居ル、答辯ニ付テノ
質問ヲシテ次第デハナイノデアリマス、之ヲ
誤リ認メラレマシテ院外ニ相當ニ宣傳ヲシ
テ、花井ハ語ルニ落チタナドト附加ヘテ宣
傳ヲセラレルト云フコトハ甚ダ迷惑千萬デ
アリマス、能ク質問ノ要旨、演説ヲ熟讀セ
ラレテ、誤解ノナイヤウニ爲サラムコトヲ
御注意イタシマス、將來ノ爲ニ御注意イタ
シマス、而シテ國務大臣ハ必ズ議會ニ列セ
ネバナライ、議會ト政府トガ相共ニ國事
ヲ議スルノデゴザイマスルカラ、原則トシ
テ寧ロ例外ナク國務大臣ハ議會ニ列ルベキ
モノデアリマス、勿論一日二日ノ病氣ガゴ
ザイマシタト云フコトヲ以テ其日ニ直ニ事
務管理ヲ置カナクテハナラス、代理ガナク
テハナラスト云フヤウナ、私ハ極端ナル議
論ヲ致ス者デハゴザイマセヌ、苟モ議會ニ
出ラレナイト云フ豫測ノ付キマシタル以
上、内閣官制第八條ニ内閣總理大臣故障ア
ルトキハ他ノ國務大臣臨時命ヲ承ケ其ノ事
務ヲ代理スベシトアルガ如ク、又第九條ニ
於テ「各省大臣故障アルトキハ他ノ大臣臨
時攝任シ又ハ命ヲ承ケ其事務ヲ管理スヘ
シ」トアリマス如ク、第八條第九條ノ規定
ニ則ラズシテ代理ヲスルト云フコトハ出
來ナイノデアリマス、總理大臣ノ只今ノ
辯明ニ代理云々ト云フコトヲ申サレマ
シタケレドモ、ソレハ出來ナイノデア
リマス、殊ニ政府ガ議會ヲ尊重スル趣旨ニ
於テモ、議會ト相共ニ國事ヲ慎重ニ議スル
ト云フ上ニ於テモ、議會ハ一日モ國務大臣
ヲ缺クコトハ出來ナイモノデアルト云フコ
トハ明カニ先例ガ示シテ居ルノデアリマ
ス、私ハ貴族院要覽ヲ御覽ニナリマシタナ

ラバ、寧ロ此先例ト云フモノハ極メテ大切
ナルモノトシテ認メラレテアルト云フコト
ヲ御發見下サルコトガ出來ヤウト思フノデ
アリマス、第四議會、是ハ明治二十五年十
二月二十五日ニ召集セラレタル議會デアリ
マス、伊藤内閣總理大臣故障ニ付キ、第八
條ニ基イテ臨時内閣總理大臣トシテ井上内
務大臣ガ命ヲ受ケテ其事務ヲ代理セラレタ
ノデアリマス、此故障ト申スノハ負傷デア
リマス、傷デゴザリマス……負傷、只今モ
故障ノ御解釋ガゴザイマシタケレドモ、伊
藤内閣總理大臣ノ此際ノ故障ト申スノハ負
傷デアタノデアリマス、ソレモ議會ニハ直
ニ事務代理トシテ……總理大臣事務代理ト
シテ井上伯ガ命ヲ承ケテ列席セラレテ居
タノデアリマス、又第六議會、是ハ明治二
十七年五月十二日ノ召集、井上内務大臣故
障ニ付キ、第九條ニ基キマシテ芳川司法大
臣ガ内務大臣臨時代理トナラレタノデアリ
マス、第九議會、明治二十八年十二月二十
五日召集、伊藤内閣總理大臣忌引中デゴザ
イマス、忌引中臨時樞密院議長黒田清隆伯
ガ臨時代理内閣總理大臣トシテ之ヲ代理セ
ラレテ居リマス、第二十二議會、明治三十
八年十二月二十五日召集、外務大臣小村壽
太郎氏特派全權大使トシテ、清國ニ差遣中、
桂内閣總理大臣ハ外務大臣ヲ兼ネラレテ居
リマス、第三十一議會大正二年十二月二十四
日召集、松田司法大臣病氣ニ付キ與田文部
大臣ハ臨時兼任司法大臣トナッテ居ルノデ
アリマス、第四十五議會、大正十年十二月
二十四日召集、海軍大臣加藤友三郎君不在
中、高橋内閣總理大臣ハ臨時海軍大臣事務
管理トナッテ當院ニ列セラレテ居リマス、第
五十議會、大正十三年十二月二十四日召集、

農商務大臣高橋是清氏ハ横田司法大臣薨去
ニ付キ臨時兼任司法大臣ヲ命ゼラレテ居リ
マス、是ハ時ニ注意スベキコトデアリマス、
或大臣薨去セラル、其隣間ニ直ニ他ノ大臣
ヲ命ゼラルルト云フコトハ、議會會期中ニ
在リテハ一日モ國務大臣ナカルベカラズト
云フコトノ、國法上ノ原則ヲ的確ニ適用セ
ラレタル所ノ例證ト相成ルノデアリマス、
第五十一議會、大正十四年十二月二十五日
召集、加藤内閣總理大臣病氣ニ付キ内務大
臣若槻禮次郎氏ハ内閣總理大臣臨時代理ト
ナラレテ居リマス、斯様ニ前後幾回ノ議會
ヲ通ジテ、内閣官制第八條及第九條ノ行ハ
レタルコトヲ證シテ餘リアルノデアリマ
ス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、各國務大
臣ハ悉ク議會ニ列席セラレテ居ルト云フコ
トニ慣例ハ示シテ居ルノデアリマス、今回
ノ如ク陸軍大臣ニ故障ガゴザイマシテ、他
ノ大臣ガ代理ヲ爲サナイ、又命ヲ承ケテ其
事務ヲ管理シナカッタト云フ事例ハゴザリ
マセヌ、即チ陸軍大臣ナル國務大臣ハ空席
ノ儘デ會議ヲ開カル、議員ノ諸君ヨリ國防
ニ關シ、軍政ニ關シ、其他ノ問題ニ關シ、
陸軍大臣ヲ指名シテ質問ヲナサル場合ニ於
キマシテ、其陸軍大臣トシテ答辯ヲ内閣總理
大臣、若クハ政府委員ニ於テ代理トシテ答
辯ヲナスコトハ出來得ナイノデアリマス、
只今出來得ルカノ如ク御説明デゴザイマス
ルガ、出來得ナイノデアリマス、尤モ貴族院
ニ於キマシテ、此點ニ關シマシテ二通りノ
例ガアリマス、併ナガラ其例ハ此場合ニ適
用ハ出來ナイノデアリマス、大臣ガ本會ニ
列セラレテ、而シテ其列セラレタル時ニ、
政府委員ガ答辯ヲナシタルコトニ付テ、當
該國務大臣ハ責任ヲ負フモノナリヤ否ヤト

云フ問題ガアッタノデアリマスガ、責ヲ負
フ、代ッテ答辯ヲサスノデアアル、スルノデア
ルト云フノデアリマシテ、空席ノ儘ニ於テ
ノ例ハナイノデアリマスカラ、當院ノ先例
モ亦私ノ見ル所ト異ナラナイノデアリマ
ス、此點ニ付キマシテモ、明治四十二年第
二次桂内閣ノ時代、只今申上ゲマシタ質問
ト同様ニ……同時ニ私ハ政府ニ問フタノデ
アリマス、國務大臣ノ發言ニ關シ委託若ク
ハ代理ヲ認メタル法規ナシト信ズ、政府ノ
所見如何、前回竝本日、總理大臣ノ申サレ
マシタルコトニ是ハ牽連ヲ致スノデアリマ
ス、國務大臣トシテノ總理大臣ニ質問イタ
スノデハナイノデアリマス、陸軍大臣トシ
テ陸軍大臣ニ答ヲ得ムトスル質問ガアッタ
場合ニ於キマシテ、陸軍大臣ヲ措イテ、陸
軍大臣ナキノ故ヲ以テ、空席ノ故ヲ以テ他
ノ大臣ガ代ッテ答辯セラレル權利ガナイ、
議員ハ議員ノ權利トシテ行政監督ノ權利ヲ
行使スル必要上、主管大臣ニ質問ヲスルノ
デアリマシテ、主管大臣ノ答辯ヲ要求スル
ノデアリマス、誰ガ答辯ヲシテモ宜シト
云フノデハナイノデアリマス、此處ヲ御注
意願ヒタイノデアリマス、私ハ言責ニ付テ
ノ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、發言ノ
責任ニ付テノ連帶責任制ヲ執ラレムコトヲ
欲スルガ爲ニナシタル質問デアリマシテ、
此質問ノ答ガ答辯ハ誰ガシテモ宜イト云フ
事柄デナイト云フコトハ御考ニナラナケレ
バナラナイノデアリマス、茲ニ於テ政府ハ
全然其誤ヲ覺ラレマシテ、國務大臣ノ發言
ニ關シ、他ノ國務大臣ニ於テ其委託ヲ受
ケ……間違ヒマシタ、政府委員ノ説明中、
委任及代理云々ハ穩當ヲ缺クヲ以テ之ヲ取
消ス、委託モ認メナイ、代理モ認メナイト

云フ答辯ヲセテ居ルノデアリマス、此
質問ノ由テ起リマシタル經過ヲ簡單ニ一
ツ申上テ置キマス、明治四十二年第二次
桂内閣ノ時代ニ於テ起リタル、衆議院ニ於
ケル豫算委員會ニ付テハ、ハコトデアッタ
ノデアリマス、大藏大臣ニ質問ヲ致シタル
所、通信大臣ガ代テ答辯ヲセラレタノデア
リマス、ソレガ出來ルカ、代理デ出來ル、
委託デ出來ル、然ラバ誰ガ責任ヲ負フノデ
アル、此責任論ニ關シマシテ政府答辯ニ頗
ル窮シタコトハ、速記録ヲ熟覽セラルレバ
直チニ分ルコトデアリマス、茲デ大問題ガ
起リマシテ、主管事務ニ對シテ其大臣ヲ指
定シテ質問ヲナシタル場合ニ於テ、他ノ大
臣ガ委託ヲ受クル、代理ヲスルナドト云フ
コトハ、アリ得ベカラザルコトデアルト云
フコトヲ感ジマシタガ故ニ、質問ヲ致シマ
シタル所、委託ト云フコトモ穩當ヲ缺ク、
代理ト云フコトモ穩當ヲ缺ク、即チ委託、
代理ト云フコトハ認メナイト云フコトノ答
ニナリ居ル次第デアアルノデアリマス、質問
趣意書及質問演説、誤解ノナイヤウニ政府
ハ御調査ニ相成リタイト思フノデアリマ
ス、私ハ敢テムヅカシイコトヲ申スノデハ
アリマセヌ、國務ヲ議スルニ當リマシテハ、
大切ナル國務ヲ議スルノデゴザリマスルカ
ラシテ、政府即チ内閣ト議會トハ互ニ其權
域ヲ守ルベキコトハ當然デゴザリマスルケ
レドモ、之ヲ構成スル上ニ於テ苟モ缺點ノ
ナキヤウニ互ニ相努メスケレバナラヌト思
フノデアリマス、今日ハ陸軍大臣ガ空席デ
アルト云フノデアリマス、只今御答辯ノ趣
旨ヲ、二以上ノ大臣、或ハ三以上ノ大臣、
極端ニ論ジタナラバ全部ノ大臣空席セラレ
タル場合ニ於テ、只今ノ御説明ノ趣旨ヲ適

用スルト云フコトニナリタラバ、如何デア
ラウカト云フコトモ慮ラナケレバナラヌノ
デゴザリマス、ガ是ハ勿論杞憂デ、有リ得
ルコトデハゴザリマセヌ、私ハ只今ノ御説
明ニハ甚ダ満足イタシ兼ヌルノデゴザリマ
スルガ、議事進行ニ關シテ陸軍大臣ノ出席
ヲ要求シ、竝ニ今日マデ出席セラレザリシ
所以ノ説明ノ要求ヲ致シテ居ルノデゴザリ
マスルカラ、議長ヨリハ出席ノ要求ヲナシ下
スタコトデゴザリマセウシ、又總理大臣ヨ
リハ、私ニハ敬服ハ出來マセヌケレドモ、
要求ニ應ジテ説明ヲ與ヘラレタノデゴザリ
マスカラシテ、是レ以上論議イタシマスル
ト云フコトハ、議事進行ノ範圍ヲ擴大ニスル
ト云フ惡例ヲ貽シマスルカラ、私ハ他ノ機
會ニ於テ質問事項トシテ、政府ノ所見ヲ的
確ニ質シテ見タイト思フノデアリマス、尙
ホ議長竝ニ政府ニ向テ陸軍大臣ノ出席ヲ
要求イタシマスル、私ハ本日陸軍大臣ニ對
シテ、軍政ノ範圍ニ付テ、又統帥權竝ニ編
制權ノ性質ニ關シテ質問ヲ致シタイト存ジ
マシテ、通告ヲ致シテ置キマシタカラ、其
際ニ十分論述イタシタイト思ヒマス
〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕
●國務大臣(濱口雄幸君) 只今花井君ノ御
演説ニ對シマシテ、私最初ノ答辯ノ趣旨ヲ
今少シク徹底スルヤウニ申上テ見タイト
存ジマス、陸軍大臣ガ病氣ノ爲ニ最初ヨリ
此議會ニ出席ガ出來ナイト云フコトハ、誠ニ
遺憾千萬デアリマス、併ナガラ其目下ノ病
狀ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、至テ經過
ハ良好デアリマシテ、現ニ病院ニハ居リマ
スケレドモ、事務ヲ見ルコトニ於テ差支ハ
ナイノデアリマス、而シテ三日或ハ四日頃
ニハ多分退院ガ出來ル、從テ不日議會ニ出

席ノ出來ルト云フ見込デアリマス、サウ云
フ狀況ノ下ニ於テ、今日臨時事務管理ヲ置
クト云フ程度ニ達セヌモノト考ヘテ居ルコ
トハ、先刻申シタ通りデアリマス、而シテ
此問題ニ關シテ只今花井卓藏君ノ御述ベニ
ナリマシタ、明治四十二年第二次桂内閣ノ
時ノ先例ヲ按ジマスルニ、質問ノ提出者ハ
花井卓藏君ト小川平吉君、贊成者河野廣中
君外三十八名トナッテ居リマス、ソレハ國務
大臣ノ資格及其發言ノ責任ニ關スル質問趣
意書トナッテ居リマスガ、其質問ノ簡條ト竝
ニ之ニ對スル政府ノ答辯ハ、只今花井博士
ノ御述ベノ通りデアリマス、質問ノ事項ハ
四箇條ニ分レテ居リマスガ、私ノ最モ重キ
ヲ置イテ先刻申上ゲマシタ點ハ、第一項ト
第二項トデアリマス、之ガ今回ノ事件ニ直
接關係ノアル先例ト存ジマス、即チ其當時
ノ花井君ノ御質問ノ第一項ハ、國務大臣ト
各省大臣トハ國務上其資格同一ニアラズト
信ズ、政府ノ所見如何ト云フコトデアリマ
ス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、國務大臣ノ
職務ハ國務上各省所管ノ事務ニ局限セザル
モノト認ムト云フ答辯ニナッテ居リマス、即
チ各省大臣トシテハ其職務ハ各省ノ事項ニ
限ッテ居リマスケレドモ、國務大臣トシテ
ハ廣ク政務ノ全部ニ涉ッテ居ル、斯ウ云フ
意味デアリマス、從テ此處ニ列席ヲ致シテ
居リマス私始メ各國務大臣ハ各、自分ノ所管
ノ事務ニ局限サレズシテ、廣ク國務ノ全般
ニ付テ其職務ヲ持ッテ居ル、斯様ニ解釋スベ
キモノデアラウト存ジマス、是ガ第一項デ
アリマス、御質問ノ第二項ハ國務大臣ノ發
言ハ必シモ其所管事務ニ拘束サルベキモノ
ニ非ズト信ズ、政府ノ所見如何、之ニ對スル
答辯ハ、國務大臣ノ發言ハ必シモ其所管事

務ニ拘束サルベキモノニ非ズト認ム、斯様デ
アリマス、從テ私始メ他ノ國務大臣ガ國務大
臣トシテ、或ハ陸軍ニ關スルコト、或ハ海軍
ニ關スルコト、其他諸般ノ國務ニ付テ答辯
ヲシ得ベキコトハ明瞭デアラウト思ヒマ
ス、其當時ノ御質問ノ第三項ハ、是ハ連帶
責任ノ趣意ヲ明カニスル爲ニ御質問ニナ
タモノデアラウト存ジマス、ソレハ只今花
井君ノ御説明ノ通りデアリマシテ、ソレニ對
スル答辯ハ、國務大臣ノ發言ニ付キ其總員
ガ政治上及道德上言責ニ任ズベキヤ否ヤハ
各事項ニ付キ決定スベキ問題ニシテ、概括
的ニ答辯スルコトヲ得ズトナッテ居リマス、
之ヲ要スルニ、國務大臣トシテハ、或ハ進
ンデ發言シ、或ハ議員ノ質問ニ對シテ答辯
スルニ當ッテ廣ク國務全般ニ付テ爲シ得ル
コトト私ハ考ヘテ居リマス、而シテ只今花
井博士ハ是マデノ例ヲ御舉ゲナリマシ
テ、苟モ國務大臣ガ事故ノ爲ニ議會ニ出席
ヲシナカッタ場合ニ於テハ、必ズ臨時兼攝ヲ
置イテ居ル、臨時兼攝ヲ置カズシテ議會ニ
缺席シタ例ハ無イト云フコトヲ仰セラレマ
シタガ、私ノ調査スル所ニ依レバ、サウ云
フ先例ハ有ツタカノヤウニ存ジマス、即チ
大正十一年ノ春ノ議會ニ於テ二月ノ下旬マ
デ當時ノ司法大臣大木伯爵ハ議會ニ出席ヲ
致サレマセヌ、而モソレガ爲ニ不日出席ヲ
得ル見込ノ下ニ臨時攝任又ハ事務管理ヲ置
カナカッタノデアリマス、其他ニ先例ガ有ル
カ無イカ調査ハ届イテ居リマセヌガ、少ク
トモ此一ツノ先例ハ有ルノデアリマス、只
今花井君ノ御舉ゲニナリマシタ各種ノ先例
即チ臨時事務管理ヲ置カレタ場合、或ハ臨
時兼攝ヲ命ゼラレタ場合、是ハ其當時ノ事
情ニモ依ッテデアリマセウガ、中ニハ時ノ大

臣が遠く海外ニ旅行シテ居テ、ソレガ爲ニ一切事務ヲ見ルコトガ出来ナカッタ場合ガ多ク擧ゲラレタヤウニ存ジマス、例ヘバ華盛頓會議ノ場合ニ於テ時ノ加藤海軍大臣ハ帝國ノ全權トシテ米國ニ使サレ、從テ海軍大臣トシテノ事務ヲ見ルコトガ出来マセヌニ依テ當時ノ高橋内閣總理大臣ガ臨時事務管理ヲ命ゼラレタノデアリマス、其他ニモ外國ニ行テ居タガ爲ニ事務管理ヲ置カレタ例ヲ御擧ゲニナリマシタ、ソレカラ三派内閣ノ時ニ内閣總理大臣加藤高明伯ガ是ハ旅行デアリマセヌ、病氣デアリマシタ、而モ其病氣ハ極メテ重病デアリマシテ、自宅ニ居リマシテモ一切事務ヲ見ルコトガ出来ナカッタ程度デアリマシタ、而モソレハ總理大臣デアリマス、ソレ故、内閣總理大臣臨時代理ガ設ケラレタノデアリマス、今日ノ宇垣陸軍大臣ノ場合ハ、ソレハ今申シマシタ通り、病氣ノ程度ガ既ニ病氣ニ於テ事務ヲ見ルコトノ出来ル程度デアリマス、又不日出席ノ出来ル程度デアリマス、此場合ニ於テ陸軍大臣ヲ指定セラレテノ説明ヲ要求サルコトガ必要デアリマシタナラバ、ソレハ願ハクバ陸軍大臣ノ出席サルマデ暫ク御留保ヲ願ヒタイノデアリマス、併ナガラ事、急ヲ要スル爲ニ陸軍大臣ノ出席マデ待テナイト云フコトデアリマスナラバ、初ニ申シマシタ通り、書面ヲ以テ答辯スルト云フコトヲ御認メテ願ヒタイト存ジマス、又他ノ大臣デ答辯ノ出来マスルコトハ出来得ル限り答辯ヲ致シマス

●花井卓藏君 只今、總理大臣ノ御説明ニ相成リマシタル前段桂第二次内閣ノ際ニ於ケル質問答辯、是ハ一口ニ申シマシタナラバ、責任内閣制ニ對スル質問デアッタ、責任

内閣制ヲ認ムルト云フ……完全デハゴザイマセヌガ、責任内閣制ヲ認ムルト云フコト

ノ質問應答ニ結論トシテ相成ルノデアリマス、即チ甲大臣ノ發言シタル、演説シタルソレニハ、各國務大臣ハ拘束セラルベキモノデアアル、連帶トシテ責任ヲ執ルベキモノデアアル、例ヘバ外務大臣ノ演説セラレタル事項中、世論ノ如何ニ拘ラズ……世論デハアリマセヌ、主權ノ意見ノ如何ニ拘ラズ、苟モ國務大臣デアアル以上ハ相共ニ其發言ヲ爲シタルモノト看做ス、其演説ヲ爲シタルモノト看做ス、相共ニ責任ヲ負フト云フコトヲ確的ニシタル所ノ質問應答デアアル、行政監督權ヲ行使スル上ニ於テ議員ガ甲主管大臣ヲ指名シテ質問ヲ爲シタル場合ニ誰ガ答辯シテモ宜シイト云フコトヲ傳ヘル所ノ先例デハナイノデアリマス、誤テ讀マレザランコトヲ私ハ欲スルノデアリマス、併ナガラ後段ニ於テノ御説明ニ依リマシテ、私ノ意見ト必シモ悖ル所ガナイヤウニ思ハレマス、是非當該大臣ノ説明ヲ欲スルナラバ、答ヲ欲スルナラバ、書面ニ基イタナラバ宜カラウト言ハレタノデアリマス、是ハ私ハ研究問題デハアルマイカト思フ、大ニ研究スベキ問題デハアルマイカト思フノデアリマス、否、斯様ナル研究ガ力ヲ有スルヤウナ事例ノナイヤウニ研究ヲセナケレバナラスト思フノデアリマス、議場ニ於テ……議院内ニ於テ、議員ガ議員タルノ資格ニ於テ政府ニ向テ質問ヲスル、此質問ニ對シテ國務大臣ガ國務大臣タルノ資格ニ於テ議員ニ答辯スル、換言スレバ此質問應答ハ、議會ト内閣トノ質疑應答ニナルノデアリマス、個人間ノ質疑應答ノ如ク文書ヲ以テ交換セラレベキ筋合ノモノデハアルマイト思ヒマス、

荷モ問題ト相成リマシタル以上ハ、議會全體ノ支配ニ屬スベキモノト解釋セヌケレバナラス、分ラヌ事ガアッタラバ書面ヲ以テ出シタラ宜カラウ、取次イデヤラウ、取次ノ書面ヲ傳達シヤウ、左様ニ輕々ニ見ルベキコトデハアルマイト思フノデアリマス、書面ニ付キマシテハ、議院法並ニ貴族院規則ニ規定ガアリマス、議院法ノ第四十八條貴族院規則ノ第二百二十八條、議員ハ書面ニ依リテ質問ヲ爲サムトスルキハ三十人以上ノ贊成者ヲ得テ質問主意書ヲ提出シ質問ノ趣旨ヲ説明スルコトヲ得ベシ、斯ウ云フ規定ガアリマス、併ナガラ之ヲ爲スト否トハ議員ノ自由デアリマシテ、而モ此書面質問ノ場合ハ、本院ノ先例ニモゴザイマスル通り、又此規定ノ精神トシテ立法ノ理由ニ掲ガラレテ居ル文獻ニモ現ハサレテ居ルガ如ク、議題ニ、即チ問題ニ關聯セザル或特別ノ事項ニ付テ、特ニ國務大臣ノ答辯ヲ要求スル場合ニ行ハルベキ筋合ノモノ、性質ノモノデアリマス、或ハ又書面ニ依テ質問ヲ發シ、書面ニ依テ答辯ヲ得テ、問題ノ的確ニシヤウト云フ鄭重ヨリ出ヅル場合モアリ得ルデアラウト存ズルノデアリマス、書面質問ト云フコトガアルガ故ニ、必シモ口頭質問又書面答辯……書面質問、書面答辯デ足リルデハナイカト云フコトハ、少シ間違テハ居ナイカ、俗ニ質問ト申シマスルケレドモ、即チ今日ハ質疑ナノデアリマス、質疑ト、議院法ニアル質問トハ、性質ガ全ク違テ居ル、是等モ少シク御見解ガ誤、テ居リハシナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、貴族院規則並ニ先例ニモゴザイマスル通り、國務ヲ議スル上ニ於テ疑ハシキ點ガアッタナラバ、諸君ノ面前ニ於テ十分ニ質疑ヲ

爲シ十分ニ答辯ヲ得ル、斯ノ如クニシテ間違ノナイ結論ヲ得タイト云フノガ我ミノ議員ノ方ノ望ミナノデアリマスカラ、質疑ニ關シマシテハ極メテ自由ナル規定ガ設ケラレテ居ルノデアリマス、一ト度書面ヲ發スルモ要領ヲ得ズ、二ト度書面ヲ發シテ要領ヲ得ズ、之ヲ三度シ四度セヌケレバナラヌト云フ義務ヲ議員ニ課セラレテハ、タマルモノデハナイノデアリマス、又左様ナルコトハ制度ガ要求イタシテ居ラス、慣例モ要求イタシテ居ラス、恐ラク是ガ先例ニナルト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマス、併ナガラ壇上ニ於テモ申上ゲマシタル通り、説明ノ要求ヲ致シマシテ説明セラレタノデアリマス、意見ヲ闡ハスト云フ趣旨デハゴザイマセヌカラ、御説明ダケヲ承ハッテ置クノデアリマス、唯私ハ總理大臣ニ特ニ一言イタシテ置キマス、私ノ此質問ニハ魂膽モ伏線モ何モアルノデヤアリマセヌ、唯鄭重ニ議事ハセナケレバナラス、政府ガ議會ニ臨マルルニ當テハ、議會ニ對シテ最モ鄭重ニ事ニ當ラレナケレバナラスノデアアル、國防ヲ議スル上ニ於テ、一國務大臣缺クルノ故ヲ以テ、其國務大臣ニ對シテ質疑ヲ爲スト云フ機會ガゴザイマセヌト云フコトハ、決シテ議會ニ深切ナルモノデアルトハ、私ハ言ヘスト思フノデアリマス、況ヤ發言ノ責任ガ總テニアルガ故ニ、答ヘル點ニ於テモ差支ハナイト云フ解釋ハ、御採リニナッテハ居ラスヤウデゴザイマスケレドモ、幾部分カ、サウ云フ方面ヨリ研究ガ逸シタノデハアルマイカト思フノデアリマス、是ハ或ハ屬僚諸君ノ御考ガ誤、テ居ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、私ハ内閣總理大臣ガ衆議院ニ於テ或重大ナル發言ヲセラ

〔勝田主計君演壇ニ登ル〕

●勝田主計君 諸君、私ハ現内閣ノ内政並ニ外政ニ關シマシテ、多大ノ疑問ヲ持テ居ル所ノ一人デアルノデアリマス、而シテ是等ノ疑問ノ範圍ハ極メテ廣大デアリマスルノデ、私ノ質問ヲ致サムトスル範圍ハ最モ國民ノ生活ニ關係ヲ有テ居リマスル所ノ財政、經濟、斯様ナ範圍ニ於テ質問ヲ致シタイト思フデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

而シテ此質問ヲ致スニ付キマシテ、私ノ順序ト致シマシテハ、先ヅ私ノ質問ノ起ル所ヲ以テ演述ヲ致シ、而シテ最後ニ質問ヲ列舉シテ總理大臣ノ御答辯ヲ煩ハス、斯様ニ致シタイト思フデアリマス、又茲ニ皆様ニ御諒解ヲ得テ置カケレバナラヌ事柄ハ、既ニ先回竹越君又ハ山岡博士ノ失業問題、斯様ナコトガアリマシタ、是皆要スルニ財政經濟ノ問題ニ關聯ヲ致シタ事柄デアリマス、故ニ私ノ申述べマスルコトガ、或ハ重複ヲ免レヌヤウナコトモ有ルカモ知レマセヌガ、左様ナルコトガ有リマシタナラバ、何卒惡シカラズ御諒承下サルコトヲ御願ヲ致シテ置キマス、濱口内閣ノ財政策ノ根柢ヲ爲スモノハ、私ハ申上ゲマス迄モナリマス、私ハ既往ニ溯テ種々ナル言辭ヲ實ハ弄シタクナイ、ナイノデアリマスルガ、財政計畫ト云ヒ或ハ經濟施設ト云ヒ、悉ク金解禁ヲ根柢トシテ進捗ヲサレテ居ル所ノ此濱口内閣ノ政策デアリマスルカラシテ、ドウシテモ此事ニ言及ヲ致サナケレバナラヌデアリマスル、濱口君ハ御承知ノ如ク二十年一日ノ如クニ解禁ノコトニハ御熱心

●議長(公卿徳川家達君) 日程第一ニ戻リマス、國務大臣ノ演說ニ關スル件、第四日、勝田主計君

ナ方デアリ、即行論者デアル、此方ガ解禁ヲ斷行サレタト云フコトニ付キマシテハ、私共ハ多大ノ希望ヲ以テ之ヲ見テ居、タノデアリマス、定メシ多年ノ御主張、御研究ノ結果トシテ、解禁ヲ致シテモ其事後ニ於テ種々ナル經濟上ノ變動或ハ財政上ノ困難、斯様ナル事ガ起テ來ルヤウナコトハ必ズ爲サルマイ、斯様ニ私ハ濱口君ヲ尊敬スルノ餘リニ考ヘテ居、タンデアリマス、然ルニ事實ハ私ノ想像ヲ裏切ッタデアリマス、濱口内閣ノ解禁ヲ爲サレニ付テ、何ヲ準備トシテオヤリニタッタノデアルカ、斯ウ申シマスルト財政ノ根本的立直シト稱セラレテ居ル所ノモノガ、其二ハ正金銀行ニ命ジテ在外ノ正貨ヲ御積ミニナリ、或ハ亞米利加ト約束シテ「クレジット」ヲ御設定ニタッタ、是ダケデアリマス、是ハ爭フベカラザル事實デアアルノデアリマス、財政ノ立直シ、而モ根本的立直シ、斯ウ仰セラレル所ノモノヲ其内容ニ付テ概觀イタシテ見マスルナラバ、極メテ簡單ナコトデアアル、將來ニ於テ發行スベキ所ノ公債、之ヲ御減ジニタッタ、地方ノ財政ニ於テモ亦然リ、二億五千万ノ地方債ヲ募集スル、之ヲ御延ベニタッタ、之ニ過ギナイ、ノミナラズ此財政計畫即チ現ニ實行ヲナサレテ居ル所ノ實行豫算、此實行豫算ハ濱口首相ノ言明ノ如クニ、其主義方針、金額ニ於テ此一月ニ御提出ニタッタ所謂不成立豫算、此不成立豫算ト同體ノモノト大體見テ宜シイノデアアル、此不成立豫算、即チ實行豫算ト、斯ウ申シテモ宜イ位ノモノデアアル、此實行豫算ト云フモノヲ拜見イタシマスルト、誤タル……私ハサウ考ヘル……缺點ガ非常ニ多イヤウニ私ハ感ズルノデアリマス、之ヲ重モナルモノ

ヲ列舉イタシテ見マスルト、第一ハ消費ノ觀念、是デアリマス、濱口内閣ノ整理ハ、國民ニ消費節約ノ強調ヲ致サレタ、中央及ビ地方財政ノ緊縮ト云フコトハ、即チ之ハ政府ノ消費節約デアアル、一言ニシテ之ヲ言ヘバ消費節約ト云フコトデアアル、消費節約ト云フコトハ世間ニ於テ既ニ廣ク論ゼラレテ居ルノデアリマスルガ、經濟ノ理窟ニ於テ、生産、消費、分配、此三者ガ甘ク鼎立シテ調節ヲ得テコソ、初メテ正當ノ茲ニ效果ガ生レテ來ルノデアリマス、消費ヲ重ンジ、分配ヲ重ンジ、生産ヲ輕ンズル、斯ウナッテ來マスルト云フト、是ハ所謂共產主義國ノ財政經濟見タヤウナコトニ、極端ニ言ヘバ、サッテ來ル譯デアリマス、斯様ナ理窟ヲ私ガ濱口首相ノ如キ財政經濟ニ御通曉ニナッテ居ル方ニ、強ヒテ私ハ申上ゲルノデハナイ、過日竹越君ノ御演說ノ中ニモ、水野越前守下カ、或ハ白河樂翁公ノ御話モ出タヤウデアリマスルガ、私共ハ白河樂翁公ノ如キハ決シテ今日ノ濱口首相ガ御執リニナッテ居ル如キ左様ナ偏見ナ方デハナカッタヤウニ思フノデアリマス、樂翁公ガ所謂節約ヲナサレ、之ニ付テ話ヲ承テ居ル所ニ依リマスルト、山下幸内ナル者ガ居テ、是ガ樂翁公ニ上書ヲ致シタ、其上書ハ儉約ハ民ヲ殺スモノナリト云フ結論デアアル、儉約ハ民ヲ殺スモノナリト云フ結論デアアル、此上書ニ樂翁公ハ非常ニ鑑ミラレテ、唯儉約一點張デハイケナイ、儉素、勤勉、貯蓄、今日ノ言葉申セバ即チ生産、之ヲ加味シタル所ノ儉約ヲヤラレタノデアアル、今日ノ經濟學者ノ說ヲ俟タナイ、古クヨリ我國ニ於テモチヤント樂翁公ノ如キ者ガアルノデアリマス、國民ニ向ッテ奢侈ヲ戒メ、國民ニ向ッテ浪費ヲ戒メ

ル、是ハ結構ナコトデアルノデアリマス、又國民ニ向テ成ルベク國產ヲ獎勵セヨ、國產ノ消費ヲ獎勵セヨ、斯ウ云フヤウナコト、是ハ結構ナコトデアル、唯無暗ニ消費節約ヲ強調スル、之ヲ能事トシテ財政ノ整理ト云フモノガ出來ルカドウカ、經濟ノ調節ト云フモノガ出來ルカドウカ、斯様ナコトガ一ツデアル、ソレカラ生産ニ關スル所ノ施設ト云フモノハ全クオ忘れニナッテ居ル、濱口君ハ國際貸借ノ改善ニ付テ強調ヲサレテ居ル、御尤ナ次第デアルガ、何等左様ナモノト云フモノハ豫算ノ上ナドニ付テハ現レテ居ラス、ノミナラズ財政ノ整理ノ方法ガデス、生産ヲ獎勵スル新規事業ノ經費ノ如キハ大體ニ於テ悉ク削ッテ居ラレル、斯様ナ性質ノ豫算デアルノデアリマス、私ハ濱口内閣ガ金解禁ヲサルニ臨ンデ、外國ノ解禁ヲ致シタ其事例ヲヨク御研究ニ相成ッタカドウカト云フコトスラモ、甚ダ失禮デアリマスルガ、疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、御承知ノ通りニドノ國ヲ見マシテモ、是ハ主ニ強國ニ付テ申シマス、數年掛カッテ……數年掛カッテ、サウシテ一面ニ於テハ公債ヲ償却スルトカ、或ハ租稅ヲ減ズルトカ、之ヲ年々ヤリ、一面ニハ濱口君ノ御唱道ニ相成ッテ居ル産業合理化デス、是ハ日本デハ此頃合理化ナドト申シマスルケレドモ、アチラデハ諸君ノ御承知ノ通りニ、歐洲大戰直後ニ於テ之ヲ

ヤリ出シタ、此産業合理化ニ依ッテ生産ノ獎勵發達ヲスル、斯ウシテ始メテ解禁ヲ致シタ、所ガ我國ノハデス、僅ニ一同所謂財政緊縮ヲナサッテ、ソレガ國民ノ負擔デモ減ジテ居ルカ、斯ウ申シマスレバ、成程公債ニ於テハ將來ニ發行スベキモノヲ、之ヲ多少止メラレタト云フコトデ、其將來ノ負擔ト云フコトハアリマセウケレドモガ、現ニ是ダケノコトヲ斷行スルノニ、國民ノ租稅ヲ御減ジニナッタコトモナイ、又既往ノ公債ヲ御償還ニナッタコトモナイ、人民ニハ何ニモ與ヘナイ、サウシテ斯様ナルコトヲ急遽トシテ御斷行ニ相成ッテ居リマス、斯様ナコトガアル、ソレカラ公債ノ整理、之ニ依ッテ兎ニ角中央ノ經費ニ於テハ一億五千万ヲ節減シタト仰セラレテ居ル、其通りデアル、地方ノ經費ニ於テ是亦地方債、大體地方債、地方債ニ於テ二億五千万、合セテ四億万、是ダケノモノヲ御節減ニナッタト稱セラレテ居ル、諸君、中央ノ財政ニ於テ今日十六七億、地方ノ財政ニ於テ同ジク十六七億、此中ヨリ四億万圓ト云フモノヲ、政府ガ消費ヲセナクナッタ、此事ヲ斷行スルニ當リマシテハ、必ズヤ多大ナル茲ニ産業上、或ハ勞役上等ニ影響ノ來ルベキト云フコトヲ、之ヲ苟モ濱口君ノ如キ賢明ナル所ノ政治家ハ洞察ヲサレナケレバナラヌノデアアル、之ニ對スル準備アリシヤ否ヤ、私ハ見出スコトガ出來ヌノデアリマス、唯解禁後失業問

題ノ聲ガ喧マシク、又經濟ガ常調ヲ缺ク、斯様ナルコトヨリ、甚ダ是モ失禮ナ言葉デアリマスルガ、周章狼狽若干手段ヲ御講ジニナッタト云フコトデアルノデアリマス、能ク政府ハ此政府ノ御蔭デ物價ガ下落シタ、斯ウ云フコトヲ仰セラレル、成程、物價ハ下落ヲ致シテ居リマスル、下落ヲ致シテ居リマスルガ、其下落ヲ致シテ居リマスル所ノ程度ハ、歐米諸國ノ率カラ見マスルト云フト、マダナカク、高イ、ノミナラズ此下落ノ原因ガ非常ニ違フノデス、今我ガ物價ガ下落ヲ致シタト云ッテ左様ニ樂觀スベキ時デハナイ、歐米ノ事情ヲ見、能ク御分リニナッテ居ル方ニ對シテ、斯様ナコトヲ申スノハ如何ガト思ヒマスルガ、外國ノ物價下落ナルモノハ、所謂産業合理化ニ依テ、天然ノ物產、農產物又ハ諸工藝品、斯様ナル物ノ生産過剰ニ依ッテ來ル所ノ物價下落デアルノデアリマス、我國ノ物價下落ト云フノハ何デアリマス、無暗ニ物ヲ買フナ、使フナヨ、斯ウ云フコトニ依ル所ノ物價下落デアル、其證據ハ何處ニ現レテ來テ居ルカト申スト、我々ノ生活ニ於テ最モ注意イタスベキ所謂生活費、此生活必需品ナル物ノ、他ノ物價ト比シテハ物價ガ高イ、マダ今日高イ、此點ナドハ歐米諸國ハ非常ニ注意シテ居ル、生活費……生活費ト云フモノハ、ドノ國ノ經濟ニ於テモ之ヲ重要視シテ、終始其統計ヲ取り、其物價ノ安定ト

云フモノヲ企圖シテ居ルノデアアル、所ガ我國デハ無理ナ物價ノ下リ方デアルカラシテ、此生活費ト云フヤウナモノニ付テハ他ノ物價ガ下ッタヨウト申スカ、或ハ下ル程度ニ於テ下ッテ居ルカト云フト、サウハイカヌノデアアル、是等モ單ニ物價ガ下ッタカラ大變ニ結構ナコトデヤト言ウテ、斯ウ我々ガ樂觀スルコトヲ許サナイモノデアルト思フ、而シテ財政ノ根本ノ整理ガト仰セラレルケレドモガ、斯様ナル先ヅ天引ニ類似スル所ノ節約、而シテ總テガ公債一點張り、斯様ナル節約ヲ爲サレタノデアアルガ、斯様ナルモノハ其程度ノ多少コソアレ、從來歷代ノ政府ニ依ッテ屢、爲サレタ所ノモノデアアル、ガ是ハ必ズ直グ元ニ還ッテ來ル、元ニ還ッテ來ルモノデアアル、現ニモウ此政府デモ元ヘ還ッテ居ル、何方左様ナ不確實ナル整理ノ因ヲ成スカト言ヘバ、根本ニ立入ッテ整理ヲ爲サレテ居ラスノデアアル、私ハ濱口首相ガ豐富ナル財政經濟ノ資質ヲ以テ財政ノ根本的整理ヲ爲サレル、斯ウ云フコトデアレバ、必ズヤ是ハ一度整理スル、其モノハ容易ニ動カスコトノ出來ナイモノデアアル、例ヲ申シマスレバ、行政ノ根本的ノ改革ヲスル、或ハ官業ノ整理ヲスル、國防ノ整理ヲスル、斯ウ云フヤウナ所デヤヤント押ヘテ置ケバ、是ハ戻サウト思ッテモ中々戻スコトハ出來ヌ、併シ今ノヤリ方デハモウ裁量次第デ幾ラデモズル、ベッタリニヤリ得ル、是ハ私

ハ賢明ナル首相ノ財政整理ノ御ヤリ方トシテハ甚ダ遺憾ニ感ズル、而モ之ヲ以テ根本的ノ整理ナリナド、是ハ首相ハ仰セラレヌカモ知ラヌガ、世間ニ宣傳スルニ至テハ私ハ國民ヲ誣フルモ甚シキモノナリト考ヘルノデアリマス、國防ノ問題殊ニ此陸軍ノ整理ノ問題、是ナドハ濱口君ナドハ確力餘程意氣込シテ居ラレタ、國防ヲ整理シテ宜イカ、惡イカ、是ハ別問題デアアルノデアリマス、併シ財政或ハ經濟、此方面ヨリシテ我國ノ豫算ヲ見渡スナレバ、兎ニ角歳出ノ三分ノ一ヲ擁シテ居ル所ノ此國防費、是ガ減ルト云フコトハ必ズ希望サレルコトヂヤラウト思フ、私共ハ濱口首相ガ是等ノ點ニ付テモ相當ノ御考ガアッタヤウニ承ッテ居ル、陸軍大臣亦然リ、而シテ其蹟ヲ尋ネルト云フト、殆ド何等是等ニ付テハ話ガナイ、杏トシテ聲サシ、斯様ナコトナドガ私ハ非常ニ遺憾デアルト思フ、斯様ナ次第デアリマスルノデ所謂失業、經濟界ノ不調節、是ガ起ルト政府ハ何ト云ハレカ、是ハ已ムヲ得ナイ、外國ノ事情、世界ノ是ハ事情デアル、私ハ……是ハ私ハ驚カザルヲ得ナイ、苟モ外國ノ事情ヲ御承知ニナッテ居ルヤウナ方、私ノ如キ所謂閑雲野鶴ニ件フ者デモ、此世界ノ不景氣ナルモノガ今日決シテ發生シタト云フコトヂヤナイ、發生スベキ原因ハ既ニ亞米利加ニ於ケル所ノ産業合理化ノ太運動、此處ニ發シテ居ル、英吉利邊リノ

新聞或ハ雜誌等ヲ見マスルト云フト、二三年前カラ此事ヲ言ッテ居ル、而シテ是ガ特ニ顯著ニナリ、特ニ人目ヲ惹クト云フコトハ、昨年ノ十月ニ於テ、亞米利加ニ於テ證券界ノ大反動ガアッタ、大破瀾ガアリマシタ、此警鐘ニ依ッテ稍、世間ガ眼ガ醒メタ様デアリマス、ソレハモウ當リ前ノコトデアアルノデ、故ニ今日此大不景氣ガ來ルト云フコトハ、私ハ政府當局者ガ御承知ニナラナイト云フヤウナ左様ナコトハ私ハナイト思フ、左様ニ私ハ政府當局ヲ輕ミシク見テ居ラヌ、少クトモ我々ヨリモ一歩進シデ、モノヲ御承知ニナッテ居ルト私ハ考ヘル、此不景氣ヲ御承知ニナッテ、而シテ解禁ヲ急速ニ御斷行ヲ爲サレタ、サウスレバ是ハ何デアリマスルカ、私ハ政府ノ不見識ト決シテ認メナイガ、政府ノ是ハ妄斷ト言ハナケレバナラス、妄斷ト言ハナケレバナラス、斯様ナ財政計畫ヲ以テ、是デ金解禁ヲ急ニヤルト云フコトヲ御斷行ニ相成リ、一面政府ノ御聲明ニ依リマスルト云フト、亞米利加ニ二億何千万ノ正貨ヲ積シタ、又亞米利加ニ一億ノ「クレヂット」ヲヤッタ、斯ウ云フコトヲ言フ、是ナドハ大變ムヅカシイコトノ様ニ御話ニ相成リマスケレドモガ、是ハ苟モ財政經濟ノ一端ヲ窺ッテ居ル者カラ見マスレバ、所謂一舉手一投足ノ是ハ勞デアリマス、正金銀行ニ電命スレバ直グ出來ル事デアリマス、コンナ事ハ是ハ何時デモ出

來ルコトナンデス、私ハ茲ニ如何ナル資金ヲ以テ左様ナ事ヲ爲サレタ、或ハソレガ損失ニナッタトカ何ト云フ、左様ナ細カイ事ノ論議ヲシヤウトハ思ハヌノデアリマス、私ハ左様ナ事、左様ナ事デ、要スルニ解禁ノ即行ヲ……斷行サレタ、斯ウ云フ事情デアアルノデアアル、是ハ私ハ大體ニ於テ其事情ヲ決シテ偽ラナイ積リデ申上ゲテ居ルノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

情之ヲ御ヤリニナッテ、而シテ茲ニ現在ドウ云フ結果ガ來タカ、之ヲ次ニ私ハ順序トシテ列舉シテ見ナケレバナリマセヌ、第一ハ歲入ノ減少デアリマス、御承知ノ如クニ政府ハ此一月ニ御提出ニナッタ所ノ歳入豫算ヲ、實行豫算ニ於テ御改訂ニ相成ッタ、即チ關稅ニ於テ五百何十万圓減、或ハ酒ノ稅ニ於テ百八十萬圓減、官業收入ニ於テ三百萬圓減、其他……兎ニ角千万圓内外ト云フモノヲ御創リニナッタ、是ハ私ハ誠ニ政府ノ正直ナ御ヤリ方デ結構デアルト思フノデアアルガ、尙ホ是等ノ御削減ニ付テ、私ハモウ少シヨリ以上ノモノガ有ルデアラウト思フノミナラズ、將來……具體的ニ申セバ來ルベキ豫算ヲ編成サル其時期ニ於テハ、所得稅、營業收益稅其他消費稅、官業收入等、是等ノ減收ト云フモノガ數千万圓ニ私ハ上ボルデアラウト思フノデアリマス、是ハ今日私ハ確定ノ數字ヲ申上ゲル譯ニ行キマセ

ヌガ、私ノ兎ニ角ニ經驗ニ依リ直覺的ニ斯ウ考ヘテ見マスルト云フト、我國ノ歳入ハ數千万……私ハ尙ホ以上ニ是カラ減ル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル、兎ニ角斯ウ云フコトガ一ツ起ッテ居ル、尤モ此不成立豫算ト實行豫算ト、其歳入ノ差ト云フモノハ、必シモ此金解禁ト云フコトダケニ依ッテ來テ居ルカドウカト云フヤウナ問題ニナリマス、是ハナカ／＼微細ナ問題、多少他ノ關係モアリマセウガ、大體ソコニ來テ居ルト云フトハ、概括論トシテ申シテ私ハ差支ナイト思フノデアリマス、ソレカラ次ハ内外正貨ノ激減デス、是ハ第二ノ結果、濱口首相ハ過日山岡博士ノ御質問ニ對シ、質問セラレザル以外ニ於テ、特ニ此場合我々議員ニ闡明ヲ致シテ置ク必要ガアル、斯様才冒頭デ以テ、金解禁ノコトニ付テ御一言ニ相成ッタ、諸君モ御記憶ノ通りデアアル、即チ自分内閣ヲ組織スルト、正貨ノ關係ガ誠ニ杞憂ニ堪ヘヌ狀況ニ居ル、モウ遅レテ居ル、金解禁ヲヤルノハ遅レテ居ル、直グデモヤラナケレバナラス、斯ウ思ウタト云フコトヲ述懐ヲナサレテ居ルノデアリマス、其折ニハ日本銀行ノ正貨ハ十億五千万位ハアッタノデアリマス、又政府ノ在外正貨ト稱スルモノモ、私ハ詳シクハ知リマセヌケレドモガ、少ナクトモ六七千万圓位ハアッタノデ、此狀況ヲ見テ頻ニ御心配ニ相成ッタ、私ハ政府ガ貸借ノ狀況ニ付テ御心配ニナルト云フ其コ

ト自身ハ、流石ニ首相タル濱口君ガ財政經濟ノ蘊蓄ヲ有テ居ラレル、之ニ依ルト私ハ感心ヲ致スノデアリマスガ、兎ニ角之ヲ非常ニ御心配ニナタテ、而シテ今日ノ結果ハ如何、日本銀行ノ正貨ハ殆ド今日デハ二億以上デセウ……二億以上モ現送サレテ居ル、ソレカラ外國ニ在ル所ノ所謂……何デ御拵ヘニナタカ知レマセヌガ、二億何千万ト云フ金ガ有ルサウデアリマス、是モ政府ガ數字ヲ御發表ニ相成リマセヌカラ分リマセヌガ、私共ノ見ル所ヲ以テ見マスルト云フトモウ半分ドコロデヤナイ、餘程是ハ私ハ減テ居ルト斯ウ思フ、左様ナ澤山ナ正貨ト云フモノガ流出シ、或ハ減ジ、而シテ一面此貿易以外ノ正貨、貿易以外ノ受取勘定、是ハ昨年アタリハ二億位モアリマシタ、是ハ例年ハサウハ無イノデス、是ナドモ此經濟ノヤリ方、財政ノ建方デハ、ウント私ハ減ルト思フノデアル、貿易以外ノ收支、是ノ一番數字ニ影響ヲスルモノハ、外國人ガ日本ニ來テ、日本ニ對シテ投資スルノ金額デアル、左様ナコトハ私ハモウ無カラウト思フ、是モ減ル、正貨ト云フモノハウント激減ヲシタ、今日ト致シテハ濱口首相ハ此結果ヲ見テ……曩ニ組閣ノ當初ニ方ッテ、國際貸借ノ上ニ非常ニ心配ヲサレテ解禁ヲ斷行サレ、而シテ此結果ヲ御覽ニナタ折ニハ、事志ト違フト云フ感ジヲ私ハ御持チニナリハセヌカト思フノデアリマス、次ニハ商工

業貿易ノ不振デアリマス、是ハ詳シイコトハ説明ヲスル必要ハナカラウト思フノデアリマス、今日ノ事業會社ニシテ儲ケヲ致シテ居ル事業會社ト云フモノハ殆ド無イ、或ハ中小商工業者ニシテ業ヲ休ムカ、或ハ之ヲ疊ムカ、又小サイモノナレバ田舎ニ歸ッテ行クト云フヤウナ慘澹タル狀況デアル、貿易ノ不振勿論デアリマス、是ハ種々ナルコトヲ申上ゲナクテモ、濱口首相ナドノ餘リ衷心御好ミニナラナカッタ所謂絲價補償法ト云フモノノ御發動ヲナサレタコトダケデモ分リマス、是ハ此問題一ツトシテモ、必ズ議會ノ矢張り質問ノ問題ニナルベキ領分ノアル問題デ私ハアラウト思フノデアリマス、兎ニ角非常ナル價格ヲ御補償ニナリ、而シテ一面ニ於テハ先キノ物、即チ新絲ニ對シテハ何等ノ御成算ガナイ、言葉ヲ換ヘレバ、現内閣ハ農民ト云フモノヲドウ一體考ヘラレテ居ルト云フコトスラモ疑ハレル如キヤウナ狀況ニ於テアル、是ハ併シ私ハ此問題ヲ茲デハ再論ハ致サヌノデアリマス、綿絲綿布ハドウデアリマス、綿絲綿布、外國ニ輸出スル四億五千万圓、而シテ其價格カラ申シマシテモ、生絲ガ一割五分下ガッテ居レバ、三割モ下ガッテ居ル、非常ニ困厄、是ニハ或ハ印度ノ關係モアル、銀ノ關係モアル、種々ナル關係モアリマセウガ、是亦救済ヲ迫ッテ居ルノデアル、立行カナイ、其他各種ノ業態ニ付テ之ヲ觀察ヲ致シ

テ見マスルナレバ、ドレモモイカヌ、斯ウ云フ狀況ヲ呈シテ居ル、是ハ勿論唯濱口君ガ皆其責任ヲ背負ハレルト云フノデアアルマイト思フ、ソレハ從來カラ色ニ關係モアリマセウガ、併シ此影響ヲ絶大ナラシメタト云フコトハ、所謂準備ナキ所ノ金解禁ヲ速ニ斷行サレタト云フコトニ私ハ在ルト信ズルノデアリマス、次ニハ有價證券ノ暴落デス、是ハ私ハ單ニ、茲ニ有價證券ト云フノハ決シテ有價證券ダケデハナイ、ソレハ日本ノ國富ガ減ッテ居ル、動産モ不動産モ減ッテ居ルガ、有價證券ノ暴落ト云フモノハ、是ハ非常ナ事デ、殆ド極度ニ達シテ居ル、之ヲ私ガ特ニ其惡イ現象トシテ申スコトハ、我國ノ信用經濟ノ破壊ニ是ハナリハセナイカト云フコトヲ非常ニ憂慮スルノデアル、御承知ノ通りニ我國ノ全體ノ金融機關、是ハ二十四億ノ公債ヲ持ッテ居ル、是ハ政府ノ公債政策デ、其分ハ大變ニ宜シイ、併シ一面ニ債券、株券、斯様ナルモノ、之ヲ保持シテ居ルノガ二十億位アルデセウ、又擔保ニシテ貸シテ居ルモノガ二十何億アル、四十億以上アル、一面ニハ公債ハ辛ウジテ價格ヲ保ッテ居ルカラ宜シイガ、兎ニ角今日ノ如キ此暴落ヲ致スト云フコトニナレバ、貸金ノ頭金ヲ拂フ奴ト云フモノハ無クナル、利子ヲ拂フ者モ段々無クナッテ來ル、私ハ斯ウ云フ事情ニ付テ實例ヲ色々知ッテ居リマスルケレドモ、却ッテ私ハ言ハザル

ニ若カズト考ヘマスルカラ申シマセヌガ、兎ニ角斯様ナル現象ガアルト云フコトハ、疑フベカラザルノ事實デアリマス、次ニ失業、是ハ過日此議場ニ於テ山岡博士ノ仰セラレタルガ如クニ、八萬餘ノ學生ガ兎ニ角就職難ニ陥ッテ居ル、或ハ三十五萬ト稱シ、或ハ七八十萬ト稱スル此失業者ト云フモノガ一面ニ起ッテ居ル、是等必シモ全部濱口内閣ノ金解禁政策ノ結果デナイカモ知レマセヌ、ソレハ過日濱口君ガ仰セラレタコトハ、私ハ是認シテモ宜シイ、宜シイノデアリマスルガ、流石ハ濱口君、過日山岡君ノ質問ニ對シテ、政府ト雖モ全然責任無キニアラズ全部、幾分ト云フコトハ出來ヌガ、責任ハアルンダト云フコトヲ此處デ御明言ニ相成ッテ居ル、私ハ是ハ濱口君ヲ實メルドコロデハナイ、同君ガ如何ニモ虚心恒懷ニ其非ナル所ハ非トシテ、責任ハ若干アルンダ、斯ウ仰セラレタコトハ、寧ロ濱口君ノ私ハ德ヲ高ウスルト思フノデアリマスガ、兎ニ角左様ニ濱口君ガ言ハレル位アルンダカラ、此狀況ト云フモノハ實ニ偉イモノデアルト、私ハ思フノデアリマス、次ハ國民ノ思想デス、之ニ生活難ガ非常ニ影響ヲ及シテ居ル、私ハ詳シイコトナドヲ茲デ申スノデアリナイ、御承知ノ通り從來共產黨事件ニ鑑ミマシテモ、アノ當時ハ彼等ノ主張スル所ハ極メテ露骨大膽、而シテ其行動スルヤ極メテ秘密、斯様ナ狀況デアッタ、今日デハ是ガ非常ニ合理的

ニナテ居ル、其主張ハボカシ、其行動ハ殆
ド公然ヤルト云フヤウナコトニ相成テ來
テ居ル、或ハ「ストライキ」ノ裏面其他ノ狀
況ヲ見テ見マスと云フト、ドウモサウ云フ
コトニ相成テ來テ居ル、文學、音樂、左様
ナモノニ合理的ニ這入テ來ツツアル、是ハ
私ハ非常ニ恐ルベキコトデ、其主張ノ赤裸
裸猛烈ニシテ、其行動ノ隱密ナル、尙ホ之
ヲ救済シ得ベシトスルモ、斯様ニ合理的ニ
主張ヲボカシテ、サウシテ國民ノ思想ト云
フモノガ段々ト惡化スルト云フ、是ハ
餘程重大デアル、殊ニ私ハ貴族院ナドト致
シテハ、漫然ト之ヲ看過スルコトノ出來ナ
イモノデアラウカト考ヘルノデアリマス、
先ヅ……マダアリマセウガ、詰リ主ナル結
果トシテ現ハレテ來タノガ左様ナ事デア
ル、然レバ之ニ對シ假令事前デナイニシテ
モ事後ニ致シテモ政府ハ一體ドウ云フコト
ヲ爲サレ、又爲サムトシツ、アルカ、之ヲ
檢討シテ見ナケレバナラス、國際貸借ノ改
善即チ貿易ノ伸張、其他此事ニ付テ政府ノ
爲サレテ居ル所ヲ列舉シテ見マス、調査
委員會ヲ御作りニナル、二万圓カ、二万五
千圓御出シニナツテ調査會ヲ御作りニナル、
ソレカラ鐵道省ニ觀光局ト云フヤウナモノ
ヲ御作りニナル、農林省ニ貿易局ト云フモ
ノヲ御作りニナル、先ヅ斯ウ云フモノ、ソ
レカラ國產獎勵ト云フコトニ付テ、從來カ
ラ國產獎勵ノ經費ガ出テ居ルノデアリマス

ガ、之ヲ確カ豫算デ十萬圓位御増シニナ
テ居ル、其輸出獎勵ト云フコトニ付テハ、
所謂輸出補償制度ト云フモノヲ……此輸出
補償制度ト云フモノハ、名ハ非常ニ美ニシ
テ而シテ極メテ規模ノ限局シタモノデア
ル、二十四萬圓之ニ御計上ニ相成テ居ル、
其他十五品ニ限リテ、生絲外重要輸出品十五
品ニ限リテ運賃ヲ二割ヲ減ジテヤル、正金銀
行ノ利付手形五分五厘ヲ、輸出品ノ特別ナ
モノニ限リテ五厘減ジテヤル、斯様ナコトデ
ス、是レ以外ニハ産業合理化ト云フ外ハナ
イノデアリマス、産業合理化ニ付キマシテ
ハ、私共ハ能クハ分ラヌ、言葉トシテハ大
變結構ナ言葉デ、産業合理化ト云ヘバ……
併シ産業合理化ト申シテ、何ガ産業合理化
デアルカト申セバ、私ノ寡聞ヲ以テシテモ、
外國デモ色々ニハ定義ガ違フ、安イモノヲ
澤山拵ヘ、サウシテ國民ノ福利、民福ヲ増進
スルノダトカ、何ダトカ、學者、教科書ガ
定義スレバ色々ナコトガアルカモ知レマセ
ヌ、併シ是ハ色々違フ、現ニ私共ガ、外國デ
ハ一體ドウ云フコトヲ、亞米利加ヤ英吉利
ナドデハ産業合理化ト云フテ居ルカト云フト、
是ハ今ノ定義デハナイ、今ノ定義トカ理論
トカ、サウ云フモノヨリハ、成ベク實際ニ
考ヘタイノデアリマスガ、見ルト、英吉利ノ
「エコノミスト」ナドニ産業合理化ハ「ラショ
ナリゼーション」ト云フ字ヲ使ツテ居ル、
是ハ亞米利加ノ合同「アマルガメーション」

ヨリハ、少シ意味ノ廣イモノデアルト云フ
ヤウナコトヲ言テ居ル、其大體ノ事實トシ
テハドウカト云ヘバ、英米ノ如キ、アノ從
來ノ先進國デ産業ノ既ニ數段發達シテ居ル
所ニ於テハ、大概會社ノ合同、縱ト横ノ合
同、ソレカラ品物ノ何ト申シマスルカ、ス
タンダデゼーション」是デス、是ガ實際ニ
ナツテ居ル、日本デ、一體色々御説明モアッ
タヤウデアリマスガドウ云フコトヲ一體ナ
サレルノカ、具體的ニ、是ハ政府ノ仰セラル
ル所ヲ聞クト、從來産業ノ振興ダトカ何ト
カ云フコトヲ何ニモ使ハナイノデアルガ、
特ニ産業合理化ナドト言テモ、何ヲ一體具
體的ニナサレタカ、何ヲナサレタノデア
ルカ、具體的ニ、是ガ産業合理化、斯ウ云フ
モノヲ私ハ知リタイ、斯様ニ申スト、是ハ
甚ダ失禮デアリマスガ、不可解ナ、唯言葉
ノ……新シイ言葉ヲ、新シイ外國ノ翻譯
ヲ……西洋デヤ古イ、歐洲大戰ガ濟ムト直
グ皆之ヲヤツテ居ル、之ヲ今日持テ來テ頻
ニ最後ノ、詰リ眞打ニシテ居ラレル、ドウ
モ是ダケノヤウニ私ハ思フ、ソレモ何ニモ
働イテ居ラス、是ダケシカナイノデス、是
ガ濱口内閣ノ、國際貸借ノ即チ正貨問題ノ
解決策、斯ウ云フコトデアリマス、次ニ失
業ニ對シテハドウ云フ見解ヲ持ツテ居ラレ
ルカ、對策ヲ持ツテ居ラレルカ、是ハ山岡君
ノ御質問ニ依ツテ色々內務大臣ヨリモ總理
大臣ヨリモ御話ガアリマシタ、所ガ多少內

務大臣ノ御考ト總理大臣ノ御考ト違フヤウ
デアリマシタガ、是ハ兎ニ角、彼此私ハ申
サヌ、申サヌノデアリマスルガ、結局、職
業紹介局ト云フモノヲ內務省ニ置ク、是ガ
一ツノ對策、ソレカラ地方デ仕事ヲサシテ、
其勞働費ヲ若干補助スル、六十一萬圓ト云
フ豫算ヲ計上シテ居ラレル、是ト、ソレカ
ラ濱口首相ノ言明サルル地方債ト云フモノ
ヲヤカマシク取締ツテ居ラタガ、是ハイカ
カラ、此方面ニ於テ手心ヲシテ緩和スルノ
ダ、此大方二千萬圓カ、ソコラ私ハ緩和サ
レテ居ララウ思フノデアリマスガ、其他
色々內務大臣ノ御話ヲ聞イテ見マシテモ、
大體對策ト云フモノハ是ダケシカナイ、失
業ニ對シテノ對策ト云フモノハ是ダケシカ
ナイ、其他、或ハ強ヒテ申セバ、質屋ノ公
營、是ハ從來カラアル、之ニ對シテ若干ノ
建設費……是モ十萬圓カ八萬圓、之ヲ計上
シテ居ラレルヤウナコトデ、何モ取留メテ、
政府ガ國際貸借ノ關係ヲ非常ニ重大視セラ
レ、又失業關係ノ問題ヲ非常ニ重要視セラ
レ、此重要視サレテ居ル割合ニハ其施設ト
シテ見ルベキモノト云フノハ、只今列舉イ
タシタモノノミデアル、或ハ小サイモノガモ
ウ一ツニツアルカモ知レマセヌガ、サウ云
フモノデアル、是ガ現實デアルノデアリマ
ス、諸君只今私ノ申述ベマシタコトハ、決
シテ事ヲ過大ニハ致シテ居マス、事實ノ實
際ニ即シテ、多少細カイモノニ至ツテハ、ソ

レハ違フコトガアルカモ知レマセヌガ、荒
削リヲ致シテ大體ノ上ガヲ觀察スルト、政
府ノ爲シタルコトガドウデアル、茲ニ缺點
ガアル、其結果ト云フモノハドウ現レテ來
タカ、之ニ對スル所ハ寛恕シテ、前以テ準
備ガ無シトシテモ、兎ニ角、事後ノ處置ト
シテモ、爲サレタコトガドレ程アルカト云
ヘバ、アレ程ナモノデアル、斯様ナコトデ
我國ノ國際貸借ノ關係ガ改善サレルモノデ
アリマスルカ、斯様ナコトデ此迄々タル所
ノ失業者ヲ救フコトガ出來ルノデアリマス
ルカ、是ハ私ハ後ニ至^テテ政府ニ聽キマスル
ガ、諸君ニ能ク私ハ御考ヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス、……私ノ質問ヲ列舉スル迄ニ
ハマダ申上ゲタイコトガ大分アリマス、ソ
レデ只今議長サンニモ御相談イタシマシタ
ガ、好イ加減ナ所デ今日ハ切^テ置イタラド
ウカト云フコトデアリマスカラ、丁度切り
デアリマスカラ、是デ私ハ失禮シテ又次回
ニ申上ゲルコトニ致シマス

●議長(公爵徳川家達君) 此際、御諮リヲ
致シマス、都合ニ依リマシテ本日ハ是デ延
會イタシタイト考ヘマス、御異議ゴザイマ
セヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

●議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

●議長(公爵徳川家達君) 散會前ニ御諮リ
ヲ致シタイコトゴザイマス、田村駒治郎

君病氣ニ付キ會期中請暇ノ申出ガゴザイマ
シタ、之ヲ許可スルコトニ御異議アリマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

●議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

●議長(公爵徳川家達君) 報告スル件ガゴ
ザイマス、書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

本日豫算委員會ニ於テ當選シタル正副委員
長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 男爵中島久萬吉君

●議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ
決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマ
ス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午後零時十一分散會

官報號外

昭和五年五月三日

貴族院議事速記錄第五號

四四